

2022年度 工学院大学 エコ推進委員会 総括

工学院大学エコ推進委員会

委員長 山本 結里菜



⑤学園祭及び体育祭でのエコステーションの設置

プレ八王子祭・八王子祭・新宿祭でのゴミの一举分別回収を行うことで、学生や来場者の分別意識向上を目的としていた。

⑥工学院エヴォリューションプロジェクト (KEP)

クリーンアップキャンペーンや、地域清掃などを常任委員会と共に行った。課題として、参加数が少なさや清掃方法に問題があるため見直しや工夫が必要である。

⑦クリーンアップキャンペーン

エヴォリューションプロジェクトとして、学生の美化意識向上およびマナーアップを目的に、昼休みに参加者を募って学内を定期的に清掃した。課題として、まだ一般学生の参加数が少ないため、広報活動や情報宣伝の更なる工夫が必要である。

⑧学外清掃

今年を行うことが出来なかった。

1. 2022年度活動目標

エコ推進委員会は学生に環境問題について、興味・関心を持ってもらい、意識を高めてもらうことを目的として活動を行っている学生団体である。委員会が環境問題を処理するのではなく、その問題提起と解決をするための方策を提示し、学生自身が改善を行うことで意識の向上を図る。

活動は委員会独自プロジェクトである、「KU-SEM Project (KOGAKUIN University Student Environmental Management)」を中心とし、環境マネジメントシステムの継続的改善サイクル (PDCA サイクル) に基づき、年間を通して活動する。

他団体との連携も強化し、学生団体に対しては特にエコ推進委員会の活動を理解した上で、環境活動に意識をもってもらえるようにする。エコ推進委員会の活動スローガンは以下の通りである。

「委員会が問題解決の方策を提示し、実際の問題解決は全学生で行う。」

2022年度は、環境活動を行う外部団体との交流を増やし、活動に関する知見を深め、新たな活動の模索を行うと同時に、より多くの学生に対して活動にかかわってもらえるように工夫をする。

2. 組織体

総人数：20名(1年生:15名、2年生4名、3年生1名)

執行部：2名(委員長:1名、副委員長:0名、会計:1名)

活動場所：八王子キャンパス(18-309)および新宿キャンパス

3. 活動成果

①エコキャッププロジェクト

例年は専用ボックスをゴミ箱に設置することで、ペットボトルの回収を行い、分別意識向上を図った。

今年は三回ほど行った。

②委員会広報誌「Let's GO エコ通信」の発行

活動成果の報告やイベント情報の周知を目的に発行した。課題として認知度が低いことが挙げられるため、掲示以外の掲載方法も模索したい。

③環境強化月間

月ごとのポスター作製・掲示した。課題として認知度が低いことが挙げられるため、掲示以外の掲載方法も模索したい。

④学外活動

エコ推進委員会の環境問題に対する知識や活動のアイデアをより深いものにするを目的として活動を行った。

外部の活動を通じて幅広い人と関わり得た知識を学内で生徒と活用するために取り組んだ。

4. 総括

今年度、既存活動では校内、イベントでの活動の割合のほとんどを占める活動の大半を例年通り行うことが出来た。既存活動にとらわれず、学外でも行える活動を積極的に行うなど柔軟な対応をするといった課題を取り入れようと課外活動を増やすことに成功した。しかし、活動を増やす事に専念しすぎるあまり、内部の委員の団結力や意識の統制が出来なかった。その原因は、活動の目的を見失い例年の行事と新たに行う行事の目的を確認しないまま行ってしまったことにある。しかし、全体を通してみれば委員会の規携は増大傾向にある。その良い傾向を維持しつつ、学生還元を重視して今後も既存の活動の難続や見直し、新規活動の模索を行いたい。